

県南 広域振興局長様

提出者

住所 〒145-0071 東京都大田区田園調布2丁目16番5号

氏名 株式会社大昌電子

代表取締役社長 菅谷正蔵

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	岩手工場	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県一関市藤沢町砂子田字宮ノ脇30	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	7,490 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
岩手工場	〒029-3403 岩手県一関市藤沢町砂子田字宮ノ脇30	7,490 kℓ
		kℓ
		kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量			二酸化炭素の排出の状況					
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D-C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ					
揮発油	4 kℓ	4	2.32 t-CO ₂ /kℓ	9.3	9.3	0		
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ					
灯油	1 kℓ	1	2.49 t-CO ₂ /kℓ	2.5	2.5	0		
軽油	3 kℓ	3	2.58 t-CO ₂ /kℓ	7.7	7.7	0		
A重油	1510 kℓ	1,523	2.71 t-CO ₂ /kℓ	4092.1	4569.1	▲ 10		
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t	3.00 t-CO ₂ /t					
	石油系炭化水素ガス	千m ³	2.34 t-CO ₂ /千m ³					
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t	2.70 t-CO ₂ /t					
	その他可燃性天然ガス	千m ³	2.22 t-CO ₂ /千m ³					
石炭	原料炭	t	2.61 t-CO ₂ /t					
	一般炭	t	2.33 t-CO ₂ /t					
	無煙炭	t	2.52 t-CO ₂ /t					
石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t					
コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t					
コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³					
高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³					
転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³					
その他の燃料	都市ガス	千m ³	2.23 t-CO ₂ /千m ³					
	()	()	t-CO ₂ /()					
	()	()	t-CO ₂ /()					
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
小計			1531	4111.6	4588.6	▲ 10		
電気	電気事業者	昼間買電	13919 千kWh	3580	0.488 t-CO ₂ /千kWh	6792.5	6819.8	▲ 0
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	7986 千kWh	2054				
		夜間買電	9937 千kWh	2379	0.488 t-CO ₂ /千kWh	4849.3	4928.7	▲ 2
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO ₂ /千kWh			
		自家発電	337 千kWh					
小計		24193 千kWh	5959	11641.8	11748.5	▲ 1		
合計			7490	15753.4	16337.1	▲ 4		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO ₂ /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和3年6月に提出した計画書の目標は、エネルギー使用量を令和5年度までに令和2年度比で3%削減するとした。結果は下記の通り。

	エネルギー使用量 (kℓ)	エネルギー使用量 の増減(対令和2年度)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	電気排出係数 (t-CO ₂ /千kWh)
令和2年度実績	7,813	—	17,280	0.522
令和3・4・5年度目標値	7,578	-3.0%	16,790	0.522
令和3年度実績	8,129	+4.0%	16,337	0.457
令和4年度実績	7,490	-4.1%	15,753	0.488

令和4年度の二酸化炭素排出量は、対令和2年度比で-8.8%となった。

【具体的な取組状況】

令和3年6月に提出した計画書の取組への状況は下記の通り。

○省エネルギー

①.電気

- ・生産計画に沿った設備の稼働を継続中
- ・長期連休及び未生産時は、不要な空調機の停止又は設定値緩和を実施
- ・品質改善活動及び生産効率改善活動による無駄遣いの排除

②.重油

- ・蒸気漏れ修理へは随時対応
- ・蒸気使用量に応じた蒸気ボイラー稼働台数の調整

○再生可能エネルギー(再エネ設備導入、再エネ由来電力の調達)

①.電力会社から再エネ電気プラン導入に関する資料提供を受けた

②.業者からPPA事業(Power Purchase Agreement : 発電者と電力消費者の間で締結する「電力販売契約」)に関する資料提供を受けた

○自動車利用抑制

①.宅配便の引取り時刻に合わせた生産計画を継続し、社有車・赤帽の使用抑制を継続して努めている

○輸送の合理化

①.資材の購入に於いて、運搬ルート・購入ルート等を変更して輸送の機会を減らす活動を継続中

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

①.工場天窓へ遮光幕設置(夏期)

今年度も6月9日に設置。

②.製品歩留り改善によるエネルギーの無駄遣い削減

歩留りは改善傾向にあり、不良品減少より再工事に必要なエネルギーの使用も減る状況となっている。